

## 対象児童・生徒の基本情報

学部・学年  
小学部〇組

障害の状態・教育的ニーズ等

知的障害  
自閉症スペクトラム

対象児童はやるべきことがわからず活動に見通しがもてないと、飛び跳ねたり離席をしたりするなど落ち着きがなくなる状況である。そのため、「予定表や活動写真等の視覚的な提示」や「活動の始まりと終わりをタイマー等で提示」することで、活動の見通しがもてるような支援が必要である。

## 授業構想

授業目標、目指す姿

見通しをもち落ち着いて学校生活を送ることができる。

学習内容（領域、教材、単元等）

日常生活の指導

従来からの手立て

写真カード、イラストカードの提示  
タイムタイマーの使用

ICT機器やアプリを活用した手立て

スケジュールアプリを活用する  
タイムタイマーアプリを活用する

## 記録、見取り

児童・生徒の様子、変容

スケジュールアプリであるDrop Tapを活用し、児童専用のスケジュールを作成し、活動の前に逐一予定の確認を教師と行うことを繰り返した結果、徐々に次の活動への見通しが持てるようになった。

やるべきことがわかると、飛び跳ねたり離席をしたりするなどの姿がなくなり、落ち着いて学習に向かえるようになり、学習意欲の向上も見られるようになってきた。

## 分析・評価

指導・支援についての評価と課題

場所を問わずタブレットでスケジュールの提示、確認ができるため本児の安心感につながり、活動への見通しがもて落ち着いて学習に向かえるようになった。

イラストより具体的な教材教具、活動場所の写真を提示することが有効であった。

今後タブレットでの提示ができない場面が出てくることも想定される。タブレットでの提示がなくても見通しがもてるような支援の在り方を考えていく必要がある。

# アセスメントシート

記入日： \_\_\_\_\_

## 対象児童・生徒の基本情報

学部・学年

障害の状態・教育的ニーズ等

## 授業構想

授業目標、目指す姿

学習内容（領域、教材、単元等）

従来からの手立て

ICT機器やアプリを活用した手立て

## 記録、見取り

児童・生徒の様子、変容

## 分析・評価

指導・支援についての評価と課題